



8月22~26	東雲夏まつりWEEK
9月10日(土)	★保育参観・講演会 ※ぜひ、ご参加ください
	小学生交流会2・3年生 消防自動車来園(避難訓練)
30(金)	★東雲みみょうフェスティバル ※ぜひ、ご参加ください
10月15日(土)	
11月	人形劇観劇(3・4・5歳児)
11月7日(月)	七五三パーティー
11月12日(土)	★保育参観・試食会(案) ※ぜひ、ご参加ください (みみょう保育園のみ開催)
11月19日(土)	★お楽しみ会(3歳児)
12月3日(土)	★生活発表会(4,5歳児)
8日(木)	成道会(じょうどうえ)
16日(金)	クリスマス会
22日(木)	餅つき
2月3日(金)	豆まき
15日(水)	ひなまつりお茶会(5歳)
3月3日(金)	ひなまつり誕生会
25日(土)	★卒園式(5歳)
未定	令和5年度 新入園説明会

※新型コロナウイルス拡大防止のため、行事が延期または変更になる場合がありますので、ご了承ください。

- ・行事は、第二みみょうこども園と同じ日程です。
- ・毎月の行事は、誕生日会・避難訓練・身体計測です。
- ・下線二重線+★印・きいろラインはみみょう保育園保護者も参加する行事です。ぜひ、ご参加ください。

※詳しくは、毎月の行事予定表で、その都度お知らせいたします。



消さないで

あなたの心の
注意の火



広島市南消防署
警防課 救助係

「遊びから学ぶ子どもたち」

7月28日(木)~30日(土)、みみょうグループ各園の年長組さんは、北広島町にあるログハウス「順源会山の家」へ、2グループに分かれ、1泊2日の一泊保育に行ってきました。

現在、新型コロナウイルスの感染急拡大により、全国の1日あたりの新規感染者は約22万人を超え、第6波のピークの2倍を超える状況です。特に、感染者の年代別割合(広島市の7月統計)は、9歳以下が14.7%、10歳代が15.6%、20歳代が15.6%と30歳以下が約半数を占めるという状況です。広島市内の保育施設の部分休園も増加の一途を辿っています。そのような状況ではありますが、みみょうの方針として、感染リスクがあるから「何もしない、させない」ではなく、子どもたちの経験や活動に制限をかけることは、子どもの成長過程に様々な影響を及ぼすと考えており、日頃からリスク回避をしながらできるだけ通常に近い保育を保障するようにしていますので、一泊保育も最大限の配慮をしながら実施しました。

一泊保育は、●自然と触れ合う中で自分たちの生活と自然のかかわりに気づき、あそびの中に取り入れ、生活経験を広める。●自分のことは自分ですることで自立を促す。●集団で生活する中で、役割分担をする楽しさを味わうなどをねらいとしています。

実際に、子どもたちは、契約農園の広大なとうもろこし畑に入り、自らが大きなものを選び、事前に教えてもらったもぎ取り方に倣ってとうもろこしを収穫する。皆でお米を研ぎながらその感触を味わったり、お家にある炊飯ジャーではなく飯盒でお米を炊き、その匂いを嗅いでみたり、おこげの味を味わう。暗くなってくるとブルーシートに寝転がって流れゆく雲の夜空を観察したり、天体望遠鏡をのぞき込んで星を探するなど、普段、園ではできないたくさんのおもしろい体験をすることができました。

自然の中で体験・経験し、自分で考えて行動しようとする姿は、まさに「遊び」そのものが学びであるということを実感しました。

広島県・広島県教育委員会では、平成29年2月(令和4年3月、第2期)に策定した「遊び 学び 育つひろしまっ子!」推進プランにおいて、「遊びは学び」という乳幼児期の教育・保育の基本的な考えが、保育園や認定こども園、幼稚園等で認識され、一人ひとりの子どもが興味・関心に基づいてやりたいことを自由に選択できるような環境の中で、子どもたちには、生涯にわたって主体的に学び続けるための基盤が培われているという考えをはっきりと示しています。

生涯にわたって主体的に学び続けるには、自らが課題を見つけ、課題の解決に向けて探究する力を、乳幼児期から育成することが重要であり、乳幼児期は、「探究の芽」を育む重要な時期であると考えます。そして、「探究の芽」は、乳幼児期の日々の生活の中で育まれるものであり、乳幼児期の子どもにとって、「遊び」は探究の宝庫であり、「遊び」そのものが学びであるということです。

今回は、「遊び」そのものが学びであるという、みみょうが長年培っていた保育方針をご理解いただくために、一泊保育の活動内容を例にお話ししました。当園は、乳児施設ではありますが、夢中になって遊ぶ毎日であるからこそ、幼児期への「学び」につながっていくのです。引き続き、遊びを通して、「何かをさせる」ではなく、「何かをしたくなる」という主体性のある意欲ある子どもを育ててまいります。ご理解とご協力をお願いします。



みみょう保育園園長



抱きしめるだけで
愛は伝わる



子どもはお母さんにギュッと抱きしめられると、そこからお母さんの優しいぬくもりがたくさん伝わって、とってもとっても心が落ち着きます。とくに小さい時はたくさんふれあってください

いろは出版 宇津崎光代/知見 著
「だいじょうぶだよおかあさん」

やりたいこといっぱい!
探求心を高める、楽しい夏のおそび



なんだろう?

きもちいいー



せんせいみてみて

どうなるかな?



廃材も沢山!!



“ていねいで応答的な保育”を通して、子どものやりたい!意欲や思いを大切にしながら、育ちを喜んでいきたいと思えます。

